

めぐみイエス・キリスト教会

2023年12月17日(日)待降節 第三主日礼拝
午前10時より
週報「通算第687号」



2023年標題聖句

第 I ヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌75「神の御子は」 p. 102

【交読文】 No.37 詩篇第119篇 p. 909

【賛美Ⅱ】 新聖歌78「荒野の果てに」 p. 106

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「天より来られし」

【聖書朗読】 ルカの福音書3章23節～38節(新約p. 114下段)

【礼拝説教】 《主イエス・キリストの系図》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所 ルカの福音書3章23節～38節(新約p.114)

3:23 イエスは、働きを始められたとき、およそ三十歳で、ヨセフの子と考えられていた。ヨセフはエリの子で、さかのぼると、

3:24 マタテ、レビ、メルキ、ヤンナイ、ヨセフ、

3:25 マタティア、アモス、ナホム、エスリ、ナガイ、

3:26 マハテ、マタティア、シメイ、ヨセク、ヨダ、

3:27 ヨハナン、レサ、ゼルバベル、シェアルティエル、ネリ、

3:28 メルキ、アディ、コサム、エルマダム、エル、

3:29 ヨシュア、エリエゼル、ヨリム、マタテ、レビ、

3:30 シメオン、ユダ、ヨセフ、ヨナム、エルヤキム、

3:31 メレア、メンナ、マタタ、ナタン、ダビデ、

3:32 エッサイ、オベデ、ボアズ、サラ、ナフシオン、
3:33 アミナダブ、アデミン、アルニ、ヘツロン、ペレツ、ユダ、
3:34 ヤコブ、イサク、アブラハム、テラ、ナホル、
3:35 セルグ、レウ、ペレグ、エベル、シェラ、
3:36 ケナン、アルパクシャデ、セム、ノア、レメク、
3:37 メトシェラ、エノク、ヤレデ、マハラルエル、ケナン、
3:38 エノシュ、セツ、アダム、そして神に至る。

●ポイント1.「マタイの福音書における系図」

※マタイの福音書1章1節～17節「ヨセフの系図」(新約p.1上段最初)

●ポイント2.「キリストがダビデの子孫であることの預言」とは？

※イザヤ書11章1節～2節「預言者イザヤの言葉から」(旧約p.1185)

11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。11:2 その上に主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、思慮と力の霊、主を恐れる、知識の霊である。

※第 I 歴代誌17章10節後半～14節「ナタンの言葉から」(旧約p.734)

17:10後半 『今、私はあなたに告げる。主があなたのために一つの家を建てる、と。

17:11 あなたの日数が満ち、あなたが先祖のもとに行くとき、私はあなたの息子の中から、あなたの後に世継ぎの子を起こし、彼の王国を確立させる。

17:12 彼は私のために一つの家を建て、私は彼の王座をとこしえまでも堅く立てる。

17:13 私は彼の父となり、彼は私の子となる。私の恵みを、私はあなたより前にいた者から取り去ったが、彼からはそのように取り去ることはしない。

17:14 私は、私の家と私の王国の中に、彼をとこしえまでも立たせる。彼の王座はとこしえまでも堅く立つ。』

◎先週の礼拝メッセージ【主イエス・キリストのバプテスマ】

《ルカは、主イエス・キリストのバプテスマについて数節しか書き記していませんが、マタイは、ヨハネと主とのやり取りを書き残しています。「私こそ、あなたからバプテスマを受ける必要があるのに、あなたが私の所においでになったのですか。」

「今はそうさせてほしい。このようにして正しいことをすべて実現することが、私たちにはふさわしいのです。」

ここで、ヨハネが言います「バプテスマ」とは、「悔い改めのバプテスマ」ではなく、「聖霊と火のバプテスマ」を指しています。また、「正しいこと」とは、主イエスが、すべての人の身代わりとして、悔い改めのバプテスマを受けることを指しています。シモン・ペテロは、『キリストも一度、罪の為に苦しみを受けられました。正しい方が正しくない者たちの身代わりになられたのです。』と、証しています。

さて、主イエスがヨハネからバプテスマを受けられたその時、天が開き聖霊が鳩のような形をして、主イエスの上に降って来られました。

そして、その時、天から「父なる神」の声が響きました。ここに、三位一体のヤーヴェなる神様が啓示されていると、考えられています。「あなたは私の愛する子。私はあなたを喜ぶ。」

父なる神は、どれほど、子なる神を愛しておられたことでしょうか。それゆえに、十字架の場面を見ようとは、されなかったのです。さて、この言葉は、イエス様だけではなく、私たちにも語られています。父なる神様は、御子イエスを愛しておられると同じくらい、私たち一人一人をも愛しておられます。預言者イザヤは、父なる神の御旨をこの様に書き記しています。「私の目には、あなたは高価で尊い。私はあなたを愛している。だから、私は人をあなたの代わりにし、国民をあなたの命の代わりにする。恐れるな。私とあなたと共にいるからだ。』と。》

◎お知らせ

※次回12月24日(日)はクリスマス礼拝となります。終了後は各家族で静かなクリスマスをお過ごし下さい。12月31日は礼拝を行ないます。